

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和8年1月15日

協議会名： 鹿沼市地域公共活性化協議会
評価対象事業名： 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
関東自動車(株) リーバス口栗野線	リーバス口栗野線の運行	【「鹿沼市地域公共交通計画」 に基づく事業の実施】 ・「鹿沼市地域公共交通計画」 に基づき、新運賃を令和5年4 月1日から導入した。 ・新運賃の導入により、運賃収 入の増加及びそれに伴う収支 改善を図ることが出来ている。 【高齢者や子ども向けのバスの 乗り方教室の実施】 ・高齢者サロンを活用し、バスの 乗り方教室を1回(5月)開催し た。 ・小学校向けに、乗車体験型バ スの乗り方教室を1回(9月)開 催した。 【利用者を起点とした効果的な 利用促進施策】 ・65歳以上を対象に「お試し共 通回数券」を交付した。 ・20歳を迎える者に、バス無料 券(1回限り)を発行するととも に、その活用方法(帰省、飲み 会等に行く際の利用案内)や、 バスの乗り方を周知した。 ・小中学生向け夏休みフリーパ スの販売、利用案内の実施。 ・小中学生(随行教員含む)を 対象に授業の移動にバスを利用 する際の割引制度を実施。	A 計画どおり事業は適切に実 施された。	B 収支率 目標 20.0% 6年度実績 25.5% 7年度実績 23.8%	・目標は達成できたものの、収 支率は前年度よりも減少した。 ・事業については、「鹿沼市地 域公共交通計画」に基づき、路 線再編を実施することで、利便 向上を図る。 ・高齢者や子ども向けのバスの 乗り方教室は、地域の状況に 即した、実践的な形で継続して いく。 ・バスの利用PRも含めた割引 制度を活用し、小中学生～高 齢者まで幅広い世代に対して 利用促進策を引き続き実施す る。
地方運輸局等における 二次評価結果 (関東運輸局)	・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。目標・効果達成状況については、概ね目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要 動向や事業の実施状況の把握に務めること。 ・バスの乗り方教室や利用促進策の実施について評価する。引き続き乗り方教室による利用促進も行い、地域公共交通計画をもとに路線再編等の効果的な利用 者利便の向上が図られることを期待する。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県と市区町村の連携が重要であることから、さらなる連携を図り、引き続き利用状況等の需要動向の把握に努め、利用者が 使いやすい地域公共交通の確保・維持が図られることを期待する。				
第三者評価委員会におけ る各委員からの意見	令和7年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。 ○公共交通を取り巻く環境は非常に厳しい状況が続いているため、都県と市区町村において、より連携を図っていただくことが重要。 ○利用者は回復しているが収支が悪化している現状において、地域住民の需要動向を把握し、公共交通の位置づけを明確にした上で広域的な計画を検討してい くことを期待する。				